

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 8 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回、定期の避難訓練は消防署の指導にて実施しているが、日中の避難訓練であり、夜間の避難訓練の実施は行なっていない。	夜間の災害が起こった時でも、職員は冷静に対応し避難出来るようにする。	① 消防署の指導のもと、夜間に災害が起きたと想定し、夜勤者ひとりで対応できるよう避難訓練をする。	12ヶ月
2	23	周辺症状に対して介護職員個々の対応に、ばらつきがあり統一が図れていない。	認知症という病気に対し介護者は理解し、落ち着きある生活を送っていただけるよう意識の統一を図る。	① 認知症に対する理解の勉強会の実施。 ② 各利用者に対するカンファレンスの実施。 ③ 周辺症状が出た場合、直ぐに対応できる介護職員を決めておく。	12ヶ月
3	37	業務優先意向となり日常生活のほとんどをスタッフが指示している。認知症対応型共同生活の場の原点に添っていない。	本人の意向を尊重し、自分の家のように気軽に生活出来るホームにしていく。	① 自発性のない表現や仕草を見極められるように、個々の意向や利用者の様子を観察していく	12ヶ月
4	38	イベント・レクリエーションに対し、個々の利用者のニーズを把握できていない。	一人一人のニーズのを把握し、きめ細やかな対応。	① 聞き取りや生活歴などから行きたいこと、やりたい事をピックアップし計画を立てていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。